|  |
| --- |
| ４０７４．混載貨物事前情報登録 |

|  |  |
| --- | --- |
| 業務コード | 業務名 |
| ＳＫＡ | 混載貨物事前情報登録 |

１．業務概要

海上の輸入混載貨物に係る海上簡易輸入申告に先立ち、混載貨物事前情報の登録を行う。

また、貨物情報の自動登録を行う旨が入力されている場合は、貨物情報の登録に係る内部処理を起動する。

２．入力者

通関業、保税蔵置場、ＮＶＯＣＣ、海貨業

３．制限事項

①１業務で入力可能なハウスＢ／Ｌ・混載子Ｂ／Ｌ番号（以降、混載子Ｂ／Ｌ番号）は最大２０件とする。

②貨物情報の自動登録を行う場合、１混載親Ｂ／Ｌ番号に対して関連付け可能な混載子Ｂ／Ｌ番号は最大９９件とする。（「SKA\_02\_関連付けに係る入力について」参照）

４．入力条件

（１）入力者チェック

①システムに登録されている利用者であること。

②本業務の入力資格を有する者であること。

（２）入力項目チェック

（Ａ）単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（Ｂ）項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（３）混載子Ｂ／Ｌ番号重複チェック処理

同一の混載子Ｂ／Ｌ番号が入力されていないことをチェックする。

（４）混載貨物事前情報ＤＢチェック処理

入力された混載子Ｂ／Ｌ番号が登録されていないことをチェックする。

（５）貨物情報ＤＢチェック処理

以下の条件をすべて満たす場合にチェックを行う。

・貨物情報の自動登録を行う旨の入力がある。

・関連付けマスターＢ／Ｌ番号の入力がある。

（Ａ）孫混載の登録における関連付けマスターＢ／Ｌチェック

孫混載の登録である場合（入力されたマスターＢ／Ｌ番号（最上位）と関連付けマスターＢ／Ｌ番号が異なる場合）は、入力された関連付けマスターＢ／Ｌが混載子Ｂ／Ｌとして搬入確認済であること。

（Ｂ）混載子Ｂ／Ｌ件数チェック

関連付けマスターＢ／Ｌが貨物情報ＤＢに存在する場合は、登録されている混載子Ｂ／Ｌの件数と入力された混載子Ｂ／Ｌの件数の合計が９９件以内であること。

５．処理内容

（１）入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

（２）混載貨物事前情報受付番号払出し処理

混載貨物事前情報受付番号をシステムで払い出す。

（３）混載貨物事前情報ＤＢ処理

入力された混載貨物事前情報を登録する。

（４）ＳＫＡ業務における出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

（５）注意喚起メッセージ出力処理

貨物情報の自動登録を行う旨が入力されている場合は、内部処理を実施している旨を注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。

貨物情報の自動登録を行う旨が入力されている場合は、貨物情報の登録に係る内部処理を行う。処理内容は下記（６）～（８）参照。

（６）貨物情報の登録に係る内部処理における入力チェック処理

混載子Ｂ／Ｌ番号毎に以下の条件に合致するかチェックし、合致した場合は以降の処理を行う。

合致しない場合は、貨物情報の登録を行わず、「０００００－００００－００００」以外の処理結果コードと合わせてエラー通知情報（ハウスＢ／Ｌ貨物情報自動登録）に出力する。

なお、処理結果コードに出力される項目名は、ＳＫＡ業務の入力項目名となる。

（ａ）貨物情報ＤＢチェック

「ハウスＢ／Ｌ貨物情報登録（登録、訂正、削除）（ＮＶＣ０１）」業務の貨物情報ＤＢチェック（新規登録）と同様のチェックを行う。

チェック内容は、ＮＶＣ０１業務の業務仕様書参照。

（７）貨物情報の登録に係る内部処理における貨物情報ＤＢ処理

ＮＶＣ０１業務の貨物情報ＤＢ処理（新規登録）と同様のＤＢ処理を行う。

ＤＢ処理内容は、ＮＶＣ０１業務の業務仕様書参照。

（８）貨物情報の登録に係る内部処理における出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

６．出力情報

（１）ＳＫＡ業務における出力情報

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 情報名 | 出力条件 | 出力先 |
| 処理結果通知 | なし | 入力者 |
| 混載貨物事前情報登録完了通知 | 以下の条件を満たす場合  （１）正常終了した場合  （２）通知先（申告予定者）に利用者が入力されている場合 | 通知先（申告予定者）に入力された利用者 |

（２）貨物情報の登録に係る内部処理における出力情報

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 情報名 | 出力条件 | 出力先 |
| ハウスＢ／Ｌ貨物登録情報 | ５．（７）貨物情報ＤＢ処理にて、混載子Ｂ／Ｌを１件以上登録した場合 | 入力者 |
| 混載仕分けを行う保税地域＊１ |
| エラー通知情報（ハウスＢ／Ｌ貨物情報自動登録） | なし | 入力者 |

（＊１）システム参加保税地域のみ出力する。

７．特記事項

（１）任意項目（項目１～項目１０）関連チェック

項目１～項目１０について、本業務実施者毎に定められたチェック内容でチェックを行う。

（２）関連付けマスターＢ／Ｌ番号について

関連付けマスターＢ／Ｌ番号とは、ハウスＢ／Ｌ・混載子Ｂ／Ｌ番号に関連付けを行うＢ／Ｌ番号を指す。本業務にて、貨物情報の自動登録を行い、かつ、ハウスＢ／Ｌ・混載子Ｂ／Ｌ番号に関連付けを行う場合は、ハウスＢ／Ｌ・混載子Ｂ／Ｌ番号に係る直前の親Ｂ／Ｌ番号を入力する。